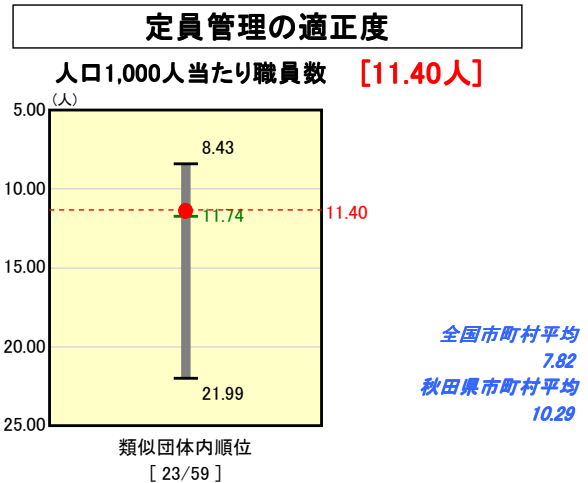
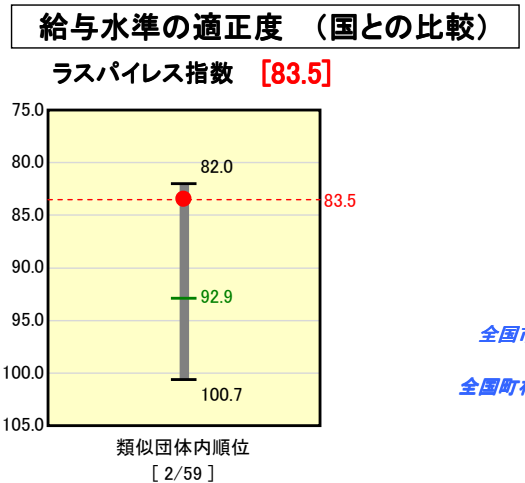
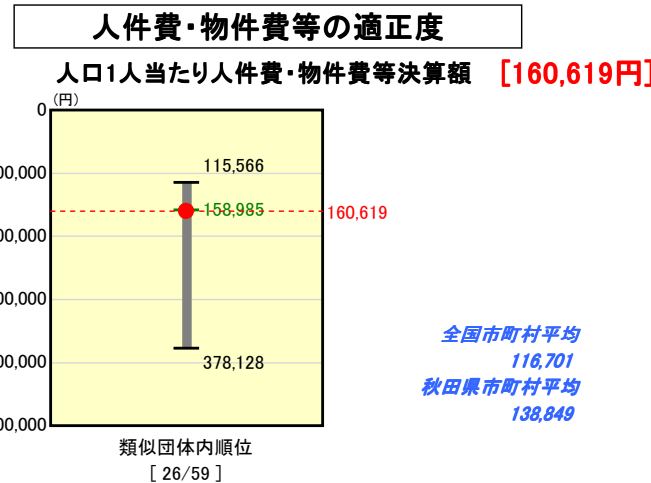
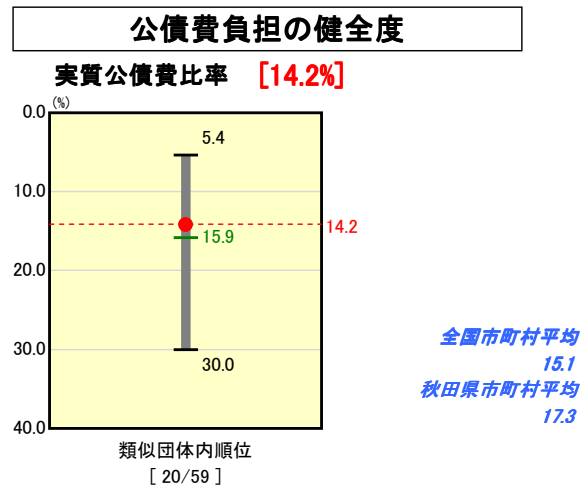
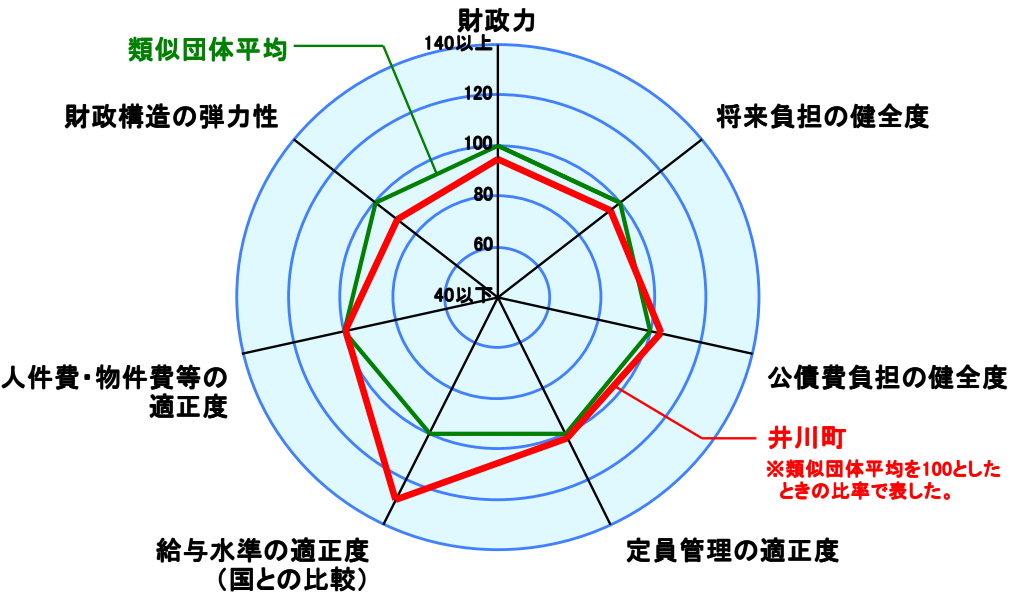
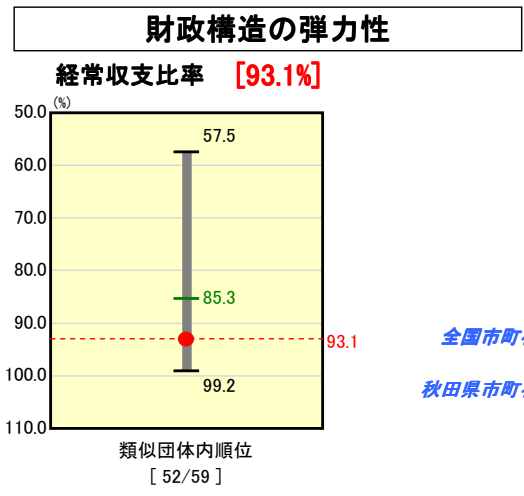
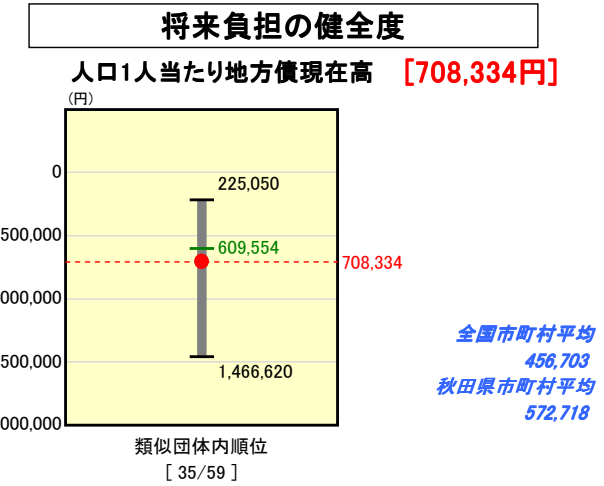
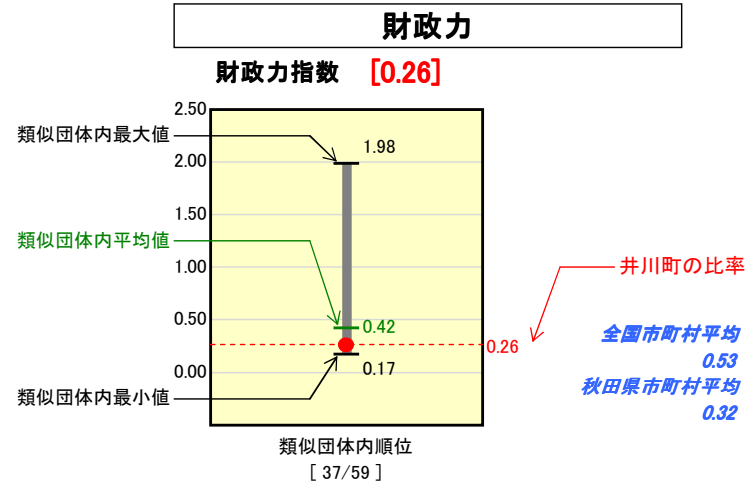


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

秋田県 井川町

人口	5,876	人(H19.3.31現在)
面積	47.95	km ²
歳入総額	2,853,298	千円
歳出総額	2,769,902	千円
実質収支	77,173	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力
財政力指数 本町の面積47.95km²のうち宅地は、3.8%に過ぎず、稲作を中心とした農業も農地面積28.6%に過ぎないため、固定資産税が低くなっています。また、他産業就業者の個人所得も低く、所得割額もほとんど伸びを期待できない状況です。このため、企業誘致等を含め商工業の振興を図り、法人税等の増収を図っていきたく考えています。

財政構造の弾力性
経常収支比率 経常収支比率における人件費及び公債費の比率が高いので、人件費については自立計画や集中改革プランに基づき職員数の純減を図り、平成19年度は計画人員より5人(5.6%)少なくなっており、既に平成21年度水準まで達成されています。また、地方債の繰上償還や借入額の軽減を図り、財政構造の弾力性を図っているところです。

人件費・物件費等の適正度
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 人件費や施設の維持管理費等、経常経費の一部は、人口に関わりなく必要なものもあり、物件費の占める割合が高くなっており、施設の維持管理を適正に行い、後年度に多額の支出が伴わないようにするとともに人件費の削減によりある程度改善されることが期待できる状況となっております。

給与水準の適正度
ラスパイレズ指数 職員数の減少により、年齢別のアンバランスが生じておりますが、適正な運用を行うとともに今後もこれまで同様の運用を図ります。

将来負担の健全度
人口1人当たり地方債現在高 人口が少ないため人口1人当たり地方債現在高は高くなる傾向にありますが、地方債現在高が財政運営上大きな影響を及ぼすことから、前年度繰越金を上回る繰上償還を実施しています。今後は、繰上償還と合わせて事業の精選を行い、借入額の削減を行って地方債現在高の削減に努めます。

公債費負担の健全度
実質公債費比率 普通会計については平成11年度以来繰上償還を実施してきたことにより、比較的低くなっておりませんが、臨時財政対策債の比率が大きくなってきました。下水道事業や集落排水事業等の残高も多いことから、特別会計についても繰上償還や低利に借換えを図る等して負担の軽減を図り、抑制します。

定員管理の適正度
人口1,000人当たり職員数 自立計画や集中改革プランでは、平成19年度は計画人員より5人(5.6%)少なくなっており、既に平成21年度水準まで達成されています。今後も計画どおり削減に取り組んだ場合県平均値まで削減がすすむことが予想されます。